

第 36 回若手研究者・院生情報交換会案内

テーマ：「子ども家庭福祉の研究課題と『学校』の接点」

2000年代に入り、スクールソーシャルワーカーの実践が広がるとともに、スクールソーシャルワークに関する研究が増えました。

しかし、子ども家庭福祉の視点から「学校という場」の意味にせまる研究は多くはありません。そこで、子ども家庭福祉の研究課題と子どもたちが多くの時間を過ごす「学校」との接点はどのように立ち現れるのか、報告者の研究を手掛かりに議論したいと思います。

日 時：2016年2月6日（土）14：00～17：00

（終了後、懇親会の開催を予定しています）

報告者：①金澤ますみ（桃山学院大学）

企画主旨説明：学校という場の営みを子ども家庭福祉の研究課題として考える
ースクールソーシャルワークの視点からー

②山中徹二（大阪人間科学大学）

ソーシャルワークによる軽度知的障害児・者のひきこもり予防支援のあり方
ー子ども・若者支援者の聞き取り調査から「学校」を考えるー

③長瀬正子（佛教大学）

全国の児童養護施設における『子どもの権利ノート』の現在
ー改訂および改定の動向に焦点をあててー

コメンテーター：松端克文（桃山学院大学）

場 所：桃山学院大学梅田サテライト

大阪府大阪市北区梅田1丁目 梅田スクエアビルディング8階

<http://www.andrew.ac.jp/work/umeda.html>

参加費：無料

参加申し込み：masumi@andrew.ac.jp（金澤ますみ）宛に、①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無をご記入のうえ、2016年1月29日（金）までにお申込みください。

件名に「36 情報交換会」と明記ください。